

©JAXA

分析に使う
施設や実験機器を
見せてもらえる！

神戸常盤大学 第4回サイエンスカフェ

はやぶさ2の帰還、そして分析へ

予定をはるかに上回る、5.4 gの小惑星リュウグウの砂を採取したはやぶさ2のサンプルカプセルは、2020年12月6日にオーストラリアのウーメラ砂漠に着陸して、6年間にわたるサンプルリターンミッションを終えました。今後、持ち帰られたリュウグウの砂は、JAXAを起点として全国の研究機関に配布され、様々な分析が行われる予定です。その一つとして、有機物分析を担当する大東 琢治先生が、砂を対象に行われる分析や、それによって何がわかるかについて、時には実際の研究施設や実験装置も見せていただきながら、講演を行います。

2021年3月6日(土)13時30分~15時

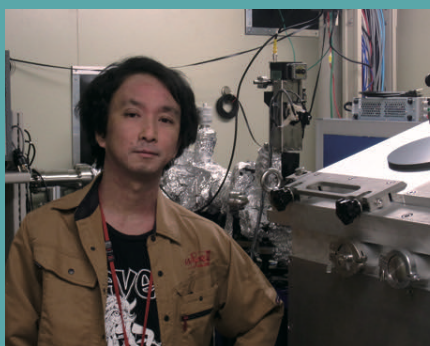
zoom 開催・参加無料・要申込

対象年齢一般(小学校高学年以上)

申込フォーム



公開講座
公式 LINE



大東 琢治 (おおひがし たくじ)

1975年東京生まれ。筑波大学で博士号(工学)を取得後、東北大学、SPring-8、立命館大学を経て現職である分子科学研究所の助教に。専門はX線光学。2020年年末にははやぶさ2が持ち帰った岩石試料を分析するPhase2高知および初期分析チームメンバーで、担当は微小領域の有機物分析。一方で漫画の原案や釣り雑誌に寄稿を行うなど、多方面で活躍中。